

タケダ・ウェルビーイング・プログラム 2013 助成の概要と推薦理由

助成番号 13-3-1

プロジェクト名 病気の子どもの「きょうだい」支援
～しぶたね 10周年プロジェクト
団体名 しぶたね(Sibling support たねまきプロジェクト)
代表者名 清田 悠代
所在地 大阪府
助成額 60万円
助成期間 2013年6月1日～2014年1月31日
設立年 1988年
URL <http://blog.canpan.info/sib-tane/>



長期療養のこどもの場合、その「きょうだい」も我慢しながら一緒にがんばっていることは見落とされがちである。この団体はそのようなきょうだいが、1人で悩みを抱え込まずに過ごせる社会を目指して活動に取り組んでいる。

これまでの2年の助成において、小学生向けのワークショップ「きょうだいの日」(年2回)を開催することで、体を動かして遊ぶことで日頃のストレスを発散したり、きょうだいと同じ立場の仲間と出会い、心にためた思いを共有する場を提供してきた。さらには成長して中高生になった「きょうだい」を対象とする活動も開始した。また、小冊子「きょうだいさんのための本」の発行では、ブログや病院、保健所、関連団体、講演会などを通じて4,000冊ほど配布され好評を得た。見学希望者やボランティアに対しても講座を開くなど、新たな理解者と協力者を開拓する取り組みも行ってきた。

今回の助成では、グループ設立10周年という節目の年にあたり、「記念イベント」や「記念誌」発行を通じて、関係者に感謝を伝え、改めて今後の協力を依頼する。また、増加している外部からの問い合わせに円滑に対応できるように広報ツールも作成し、さらなる支援の輪のひろがりを目指す。

病気の子どもたちの「きょうだい」支援を専門に行う団体は少ないが、本団体はきょうだいに寄り添いながらきめ細かな心配りのある支援を着実に続けてきている。今回は設立10周年というタイムリーな企画で、この間蓄積した活動の成果を取りまとめて発信することで、本団体が自らの経験を言語化し力を蓄えて次のステージに進むことや、後続団体や関係者に対して活動への思いや姿勢、ノウハウなどを伝えることで、「きょうだい」をとりまく課題への理解や支援の輪がさらに広がることを期待して助成した。